

連続滑車モデルを考慮した有限変形解析の受託



株式会社 **リョーケン** エンジニアズ

技術計算センター 構造解析課

広島市西区観音新町 1丁目20番24号(リョーコー・センタービル)

TEL(082) - 295 - 7148 FAX(082) - 291 - 9289

連続滑車モデルとは

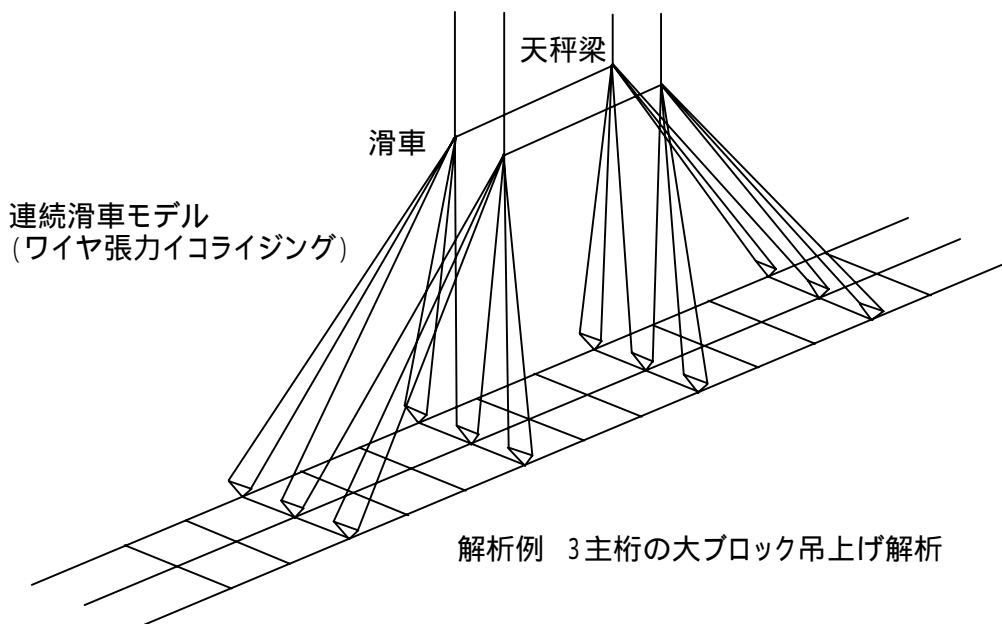
ケーブルの軸力を一定に保ったまま、複数の連続した滑車の変位と力の関係に対応づける要素である。
(滑車とケーブルの間の摩擦は小さく無視できるとする)

構造物吊上げ解析

構造物をクレーンで吊上げる場合、構造物を多点で吊上げることにより、吊上げ時の局部応力を低減できる。この場合、全ケーブルを滑車を用いず直接クレーンフックと結合するならば、ケーブルの長さ管理を慎重に行なわない限り、何本かのケーブルが機能しない状態になる。

そこで、滑車が必要となり、1本のケーブルを滑車に通しながら、多点の吊点を経由し、数本のケーブルによって吊上げれることで、張力のアンバランスも避けられ、容易に管理できる。

その状態を解析するのが吊上げ解析であり、弊社のシステムでは、連続滑車モデルを考慮した有限変形解析が可能である。



弊社では、本滑車モデルを考慮した有限変形解析を始め、各種技術計算を受託しております。
お気軽にお問い合わせ下さい。